

平成 17 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ ブ ト
代 表 者 名 代表取締役社長 鉢 嶺 登
(コード 2389)

担 当 者

役職・氏名 取 締 役 C F O 小 林 正 樹
電 話 03 - 5561 - 6434

「平成 17 年 12 月期中間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の 一部訂正について

平成17年 8 月 8 日にお知らせ致しました「平成17年12月期中間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」について、一部記載に誤りがございましたので、ご連絡申し上げます。

記

「2. 通期業績予想の修正(2) 個別業績予想」の(ご参考)前期実績(平成16年12月期)を下記のとおり訂正いたします。

(訂正前)

(金額の単位: 百万円)

誤			
	売上高	経常利益	当期純利益
(ご参考) 前期実績(平成16年12月期)	<u>4,339</u>	<u>275</u>	<u>156</u>

(訂正後)

(金額の単位: 百万円)

正			
	売上高	経常利益	当期純利益
(ご参考) 前期実績(平成16年12月期)	<u>9,473</u>	<u>496</u>	<u>266</u>

以 上

ご参考：訂正済（赤字は訂正を反映）

会社名 株式会社 オプト
(コード番号：2389)
(URL <http://www.opt.ne.jp/>)
代表者 代表取締役社長 鉢 嶺 登
問合せ先 取締役 CFO 小林 正樹
TEL (03) 5561 - 6434

平成17年12月期中間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成17年12月期（平成17年1月1日～平成17年12月31日）の中間期及び通期業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1．中間期業績予想の修正（平成17年1月1日～平成17年6月30日）

（1）連結業績予想

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予測（A） （平成17年5月16日発表）	6,971	172	1,453
今回修正予想（B）	7,417	288	1,398
増減額（B - A）	446	116	55
増減率（％）	6.3%	67.4%	-
（ご参考） 前期実績（平成16年12月期中間期）	-	-	-

（2）個別業績予想

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予測（A） （平成17年5月16日発表）	6,600	268	145
今回修正予想（B）	7,052	281	158
増減額（B - A）	452	13	13
増減率（％）	6.8%	4.8%	8.9%
（ご参考） 前期実績（平成16年12月期中間期）	3,957	229	129

2. 通期業績予想の修正（平成17年1月1日～平成17年12月31日）

（1）連結業績予想

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予測（A） （平成17年5月16日発表）	16,694	634	1,252
今回修正予想（B）	18,100	810	1,110
増減額（B - A）	1,406	176	142
増減率（％）	8.4%	27.7%	-
（ご参考） 前期実績（平成16年12月期）	-	-	-

（2）個別業績予想

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予測（A） （平成17年5月16日発表）	15,080	753	414
今回修正予想（B）	16,600	800	440
増減額（B - A）	1,520	47	26
増減率（％）	10.0%	6.2%	6.2%
（ご参考：訂正済み） 前期実績（平成16年12月期）	9,473	496	266

3. 業績予想の修正理由

（1）中間期業績予想の修正理由

当中間期業績予想については、平成17年5月16日付で開示しておりましたが、連結・個別ともに当初想定を上回って順調に推移することとなりました。

特に広告代理事業では、インターネット広告の好調を背景に、既存クライアントの受注数ならびに受注単価が増加し、更に重点業種の顧客深耕が進むと同時に新規業種においても受注が拡大したことなどが寄与し、単体業績が見通しを上回って順調に推移いたしました。

以上の結果、連結での売上も見通しを上回って推移し、また利益面でも持分法計算を見直した結果、当初見込んでいた持分法投資損失が約60百万円下回ったことから、上記のとおり見通しを修正いたしました。

（2）通期業績予想の修正理由

下期においても、インターネット広告を中心としたeマーケティング市場は、大手クライアントのネット広告出稿が増加するなどを背景に好調を維持することが予想されます。

当社は、上期に前倒しで採用した人員の戦力化などにより、市場の成長に着実に捕捉してまいります。

また、中間期途中に子会社化した株式会社ALBAが下期は通期で業績貢献してまいります。従来の通期見通しに中間期実績を反映したこと、下期の個別業績見通しを上方修正したことから、通期連結業績についても上記のとおり見通しを修正いたします。

以 上